

第6回円山川流域治水協議会 議事概要

日 時： 令和5年3月23日(木)13時00分から15時00分
場 所： WEB開催

■議事次第

1. 円山川流域治水協議会 規約（改正案）
2. 各機関からの情報提供
3. 令和4年度各機関の取組状況報告（フォローアップ）
4. 流域治水の更なる推進に向けた意見交換
5. その他

■審議内容

1) 円山川流域治水協議会 規約（改正案）

円山川流域治水協議会 規約（改正案）について、兵庫県の組織名が変更されたことによる規約の改正案を事務局より説明し、改正案は了承された。

2) 各機関からの情報提供

国交省から流域治水施策集、流域治水プロジェクト、水害リスクマップ、ワンコイン浸水センサについて情報提供が行われ、関係者で共有された。

3) 令和4年度各機関の取組状況報告（フォローアップ）

主な取組として、養父市からは雨水貯留施設設置について、朝来市からは出合橋の架け替え工事について、豊岡市からは雨水幹線整備について、兵庫県からは県管理区間（朝来工区）の河川改修について、農林水産省からは農業ダムの事前放流について、林野庁からは治山ダムの施設点検について、気象庁からは気象情報の提供について、森林整備センターからは新植間伐について、国土交通省からは中郷遊水地整備について、環境省からはゲリラ豪雨対策の取組みについての取組状況報告が行われた。

4) 流域治水の更なる推進に向けた意見交換

農林水産省より田んぼダムの効果について説明の後、田んぼダムの質疑が行われた。

- ・養父市からは田んぼダムは稲作に影響がない梅雨から夏台風の時期には有効に作用するが、それ以外の時期は稲作に影響が出る場合があるので、利害関係の調整が必要との意見があった。
- ・朝来市からは容量の小さなため池を治水活用する場合の補助制度についての質問があり、農林水産省が今年度創設された水利施設管理強化事業を利用することで有効活用出来るとの紹介があった。
- ・豊岡市からは2月に森林・林業ビジョンを策定しており森林の防災機能の向上を図るような施策を考えていきたいとの意見があった。

以上